

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズハウスつむぎ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		～ 2025年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常勤・非常勤・外部アドバイザーのセラピストがいることもあり、療育内容や個別の取組みが充実している	スタッフ間の共通理解を深めるための話し合いや情報共有	療育の充実や質の向上を図るためスタッフの育成
2	一軒家である(二階建て、広い庭)強みを活かした療育を行っている	それぞれの場所を活かした活動や療育の取組み	活動に合わせて環境を都度変化させていくこと
3	保護者との情報連携と、保護者からの相談対応力	日ごろから連絡を取り合い、情報連携を密にしている	事業所内での子どもの様子の変化を見逃さず、都度保護者にお伝えしながらさらなる関係作り

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の園や子どもたちとの交流の機会が少ない	事業所内や個人個人に対する療育の在り方に意識が向き過ぎている	地域の子どもたちとどのように交流を持つことができるか、相手の都合もあるので、まずは考えてみる
2	外部に対する発信力の弱さ	SNSへの投稿意識が低く、日々の活動や研修、マニュアルの存在を発信・アピールしきれていない	投稿できるスタッフを増やし、いろんな目線で外部へ発信できるようにスタッフ育成を進める
3	保護者同士の交流を深められる機会が少ない	以前は親会を行っていたが、事業所や利用児が増え、保護者のニーズがどこにあるか掴みきれていない	保護者へのアンケートを行ったり、いろんな形式で実際に交流会を開催してみる